

## 大都市制度検討部会における議論

### 【議題】

- 第30次地方制度調査会における「大都市制度のあり方」等についての議論経過について
- 「多様な大都市制度の早期実現を求める指定都市市長会アピール(案)」について
- 道州制に関する議論について

### 【報告】

- 「特別自治市」の早期実現に向けて（共同研究会報告書）」について
- 新潟州構想の取組について

### 【主な意見】

- ・特別自治市制度は基礎自治体を自立させる制度だと考えている。指定都市以外の都市も取り込んでいくべき。
- ・行政区も人口などの状況も様々である。区長公選制など新たな制度で縛るのではなく、各市の自主性に委ねるべき。
- ・区長公選制は指定都市が都市内分権やコミュニティーベースでの自治の強化をしている観点からも不要。
- ・「都市の人口が多すぎるから分割する」という議論は乱暴である。大都市の活力を分割により活かせるか危惧がある。
- ・「大都市」の要件としては人口50万人くらいとか現在の政令指定都市の規模くらいが適正ではないか。
- ・道州制導入に関する現在の動きを特別自治市制度の実現に向けてどう活かしていくのか、議論していくべき。
- ・道州制を推進していくには基礎自治体が一致して合意形成を図ることが必要。
- ・小規模自治体の不安を取り除くためにも、大都市が中心となり制度提案をしていくことも必要。
- ・道州制の推進には制度創設のメリットも示していくべき。